

広島派遣で学んだ事を活かすか

4班 氏名 渡辺優芽乃、星野凜、阿部菜々花、山内そら、原琴葉

出発前に平和について思っていたこと

いつ戦争が起きてもおかしくない状況にある。

全世界に平和が訪ずれてほしい

原爆や戦争について学ぶ、情報を発信していきたい。

平和とは一瞬にしてなくなってしまうもの

1日目に感じたこと、思ったこと



原爆の爆風で大破した原爆ドームは、写真で見ているよりもとても衝撃的なものだった。

また、佐々木禎子さんの友人が作った原爆の子の像はとても意味がある大切なものだと思えることができました。



2日目に感じたこと、思ったこと

〈広島平和記念式典、ひろしま子ども平和の集い〉

総理大臣や広島県の代表の方の話を通じて「平和とは何か？」を改めて考えることができた。

その問いを大事にこれから行動していきたいと思った。

〈大和ミュージアム〉

戦争に勝つためには、強い機械が必要だけど、それが完成するまでにはたくさんの犠牲があった。船にも特攻隊があって、何千人もの命が奪われた。特攻の兵器は二度と作ってはいけない。

私と年齢の近い人が原爆のことを学び発表していたのに心を打たれた。私も、もっと学んでいきたいと思った。

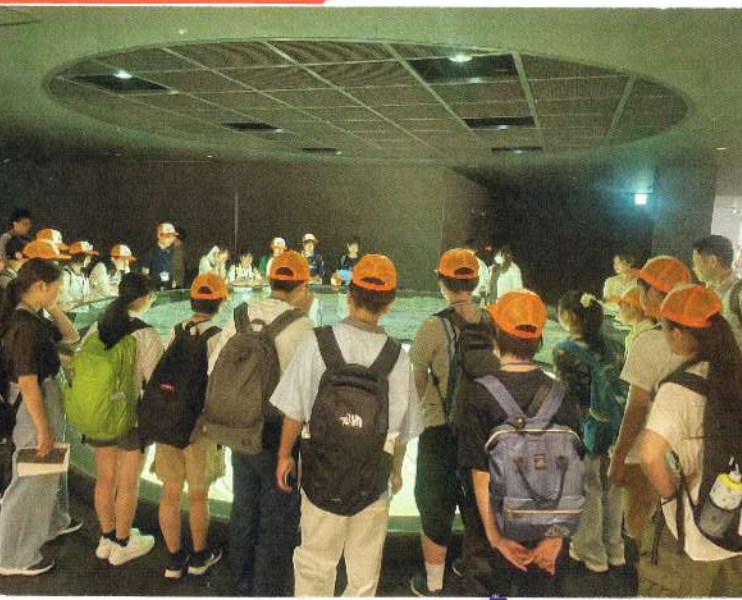
〈灯ろう流し〉

たくさんの方が灯ろう流しに参加していて平和への思いを持った人がたくさんいると思った。海外の人でも流していて平和の輪は確実につながっているなと思った。



3日目に感じたこと、思ったこと

資料館などを訪ねて「分かった」という人がいるが、資料館を見学して「分かった」という言葉で片付けてはいけないと思った。
原爆を体験した人しか知ることのできる「絶望感、恐怖」は伝わるわけない。「分かった」と簡単に言うてはいけないと思った。



広島派遣を終えて、今平和について思っていること

平和は、口にすただけだったら、簡単なことで、いかに1人1人が戦争がどのようなものだったのか、今世界がどのような状況なのか知って自分の考えを持ち、行動に移すことが大切だと思う。

願うだけでは平和は訪ずれない。だから自分から平和関連事業に積極的に参加したり、今ある幸せを大切に日々を過ごす事が大事だと思う。

自分一人の力で平和な世界にすることはできない。より多くの人から広島や戦争について向き合い手を取り合っていく必要がある。

平和な世界になるにはみんなが戦争の悲惨さなど知ることが大事だと思う。



班のテーマに対するまとめ

広島に行った自分たちが語り部として戦争を知らない世代に伝えていく。インターネットを活用してより多くの人に平和の尊さを知ってもらおう。

「自分の言葉」で家族や友達に伝えていきたい。また、多くの人の支えがあって今の暮らしがあることを忘れず、感謝の気持ちを持って過ごす。

